

平成23年度 事業計画案

I 基本的な方針

より有効で安全な新薬の研究開発を推進し、動物の診療の世界により早く提供していくことにより、健康で安心な社会への実現に寄与していくことが、動物用医薬品協会会員の使命であり、社会からの期待も大きなものがある。

膨大な費用と長い年月を要し、成功率の著しく低い新薬開発を促進するためには、研究基盤や治験環境、承認審査体制等の各種インフラ整備が不可欠であることから、動物用医薬品等の創薬活動の活性化を助長するために必要な諸制度に関する調査研究を推進し、承認審査上の諸課題の解消に向けて取り組むとともに、情報の収集・伝達の強化等の環境整備を図る。

また、東北太平洋沖地震により被災された地域の復興及び分断された動物用医薬品の供給経路の回復を協会会員が一体となって取り組み、被災地の復興を支援するとともに、動物用医薬品の安定的供給を図り、動物の衛生向上に寄与することとし、特に次の事項に配慮した諸般の事業を展開していくこととする。

- (1) 動物用医薬品等の最新の学術、情報の普及に関する広報活動を推進し、動物用医薬品等に関する一般社会の理解の醸成と知識の啓蒙普及を促進するとともに、適正使用の推進を図り、動物の健康促進への貢献と食の安全性の確保に対する社会的な要請に寄与する。
- (2) 動物用医薬品等の内外法制度を調査研究し、製造販売承認の迅速化及び円滑化の実現に向けて諸課題の解消に取組み、優良な製剤の開発・改良を促進し、実需者への安定的な供給を介して動物衛生の向上に資する。
- (3) 動物用医薬品等に係る科学技術に立脚した基礎的技術の開発・改良及び製造技術の向上を促進し、創薬活動の活性化による有効性の高い、安全な新薬の供給を目指すことにより動物衛生の向上に資する。
- (4) 人獣感染症の防除に不可欠な防疫資材及び東日本大震災の被災地における動物用医薬品の安定的な供給、診断用抗血清等の供給体制の整備を推進し、安全な社会生活の実現への社会的要請に貢献する。

- (5) 国際会議への参加、国際機関への加盟等を通して、国際的活動への支援・協力を推進し、国際的な動向に的確に対応する。

II 具体的な事業展開方針

1. 公益目的事業

(1) 学術振興普及に関する事項

1) 学術講習会等開催事業

動物用医薬品等の専門知識を有する者を対象に、動物用医薬品等の最新の学術、許認可知識の提供を図るための学術講習会等を開催する。

- ①学術講習会開催事業
- ②製造販売管理者講習会開催事業
- ③動物用医療機器承認・許可申請講習会開催事業（新規）

2) 広報活動事業

動物用医薬品に関する政省令、許認可情報、学術情報の広報及び法制、許認可手続き等の解説書等を刊行し、動物用医薬品等に関する理解の醸成と知識の啓蒙・普及を図る。

- ①広報誌等発行事業（新規：動物用医療機器製造販売指針刊行事業）
- ②HP情報伝達事業

(2) 関係法令等調査研究に関する事項

1) 国際化対策事業

動物用医薬品の承認基準の国際的調和に関する会議、世界動物薬企業連盟の主催する会議等に参画し、動物用医薬品の国際流通上の課題について調査研究を行い、動物用医薬品等の開発促進と安定供給に資する。

- ①国際会議開催事業
- ②国際機関連携確保事業

2) 関係法令等調査研究事業

動物用医薬品等に係る法制度及び派生する課題、各種ガイドラインの

設定等を調査研究し、承認許可手続きの迅速化に寄与させる。

①調査研究委員会開催事業

②関係法令調査事業

I 動物用医薬品等規制緩和対策事業（国庫補助事業）

II 動物用生物学的製剤基準国際化対策事業（国庫補助事業）

III 動物用医薬品国際基準等対策事業（国庫補助事業）

IV エコフィード利用安全推進事業（日本競馬会助成事業）

（3）開発・改良・製造技術向上対策に関する事業

1）動物用医薬品等開発事業

動物用医薬品等に係る科学技術に立脚した基礎的技術の開発・改良及び製造技術の向上を促進し、新しい動物用医薬品等の供給を通して動物衛生の向上に貢献する。

①抗菌性物質薬剤耐性菌評価整備強化事業（国庫補助事業）

2）開発等促進対策事業

動物用医薬品等に係る開発・改良上の課題を調査・研究し、開発促進のための提言活動を推進することにより動物用医薬品等の開発促進・安定供給に資する。

①開発推進委員会開催事業

②検査用稚魚安定的確保事業

（4）動物衛生向上対策に関する事項

1）診断用抗血清配布事業

病性鑑定機関等の求めに応じた病性鑑定に必要な抗血清の供給を行い、家畜疾病の病性鑑定の円滑化に資する。

2）防疫資材等供給円滑化事業

人獣感染症の的確な防除に不可欠な防疫資材の緊急供給、東日本大震災の被災地における動物用医薬品の安定的供給体制、緊急供給システムの調査研究を行い、安全な社会生活の実現への社会的要請に貢献する。

- ①防疫資材等関係委員会開催事業
- ②防疫用ワクチン備蓄システム高度化事業（新規：J R A助成事業）
- ③防疫資材等安定供給対策事業（新規）

2. 収益等事業

（1）出版

1）家畜共済薬効別薬価基準表刊行事業

家畜共済薬価基準表収載の動物用医薬品等の単位、薬価、主な成分、用法及び用量、効能又は効果、使用上の注意を掲載し、適正な診療と共済金の請求及び審査に資する。

2）動物用医薬品医療機器要覧刊行事業

製造販売される動物用医薬品等を掲載し、動物用医薬品等に対する理解の醸成と知識の啓蒙・普及に貢献する。

（2）会員組織の基盤強化

1）会員組織基盤強化対策事業

意見交換会等を開催して情報発信を行い、適時適切な情報の共有化を促進し、会員相互の持続的発展に資する。

3. その他

公益社団法人移行認定申請に向け、定款等の諸規程の見直し、会計・経理処理の公益法人会計基準への整備を図るとともに、上記以外の協会の目的を達成するために必要な事業の展開、関係団体との交流、連携を通じて関係情報の収集し、本協会の会務に活用する。